

受 験 番 号						氏 名	

**2017 (平成29) 年度放送大学**  
**大学院修士課程**  
**文化科学研究科 文化科学専攻**  
**臨床心理学プログラム**  
**筆記試験問題**

試験日：2016 (平成28) 年10月2日 (日)

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、HB又はBの黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、問題冊子を確認してください。**問題冊子は、表紙、白紙、問題1頁の順に綴じられています。**冊子を綴じているホッチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号、「大問題」番号、「大問題」ごとに何枚目であるかを解答用紙別に必ず記入してください。小問題及び選択問題を解答する際の番号は、解答用紙のマス目の外に記入してください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、**臨床心理学プログラムは5枚**で解答してください。指定された字数を超えないよう、注意して解答してください。
8. 問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を持ち帰ってはいけません。
9. 問題冊子は試験終了後に回収します。問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始から40分を経過した後は、問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

## 臨床心理学プログラム 筆記試験問題

以下の5問すべてについて、それぞれ **600字以内**で答えなさい（アルファベットは大文字でも小文字でも2字で1マスとする）。なお、解答用紙は各問1枚を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること。（解答用紙は1ページに800字記入できるので、十分注意すること。あらかじめ、600字のあたりで線を引いておくと良い）

### 第1問

心理的問題の把握や鑑別診断のために複数の心理検査を用いることをテスト・バッテリーと呼ぶが、いま任意の3つの心理検査をあげ、それがクライアントのどのような点を理解したいためのテスト・バッテリーなのかを簡潔に述べなさい。3つの任意の心理検査とそれによって理解したい点とを関連づけて説明すること。

### 第2問

- ①フロイト（Freud, S.）は宗教に対して批判的姿勢を示していた。
- ②フロイトは「喪の仕事」と表現される営みを重視した。

②に関してのフロイト自身における経験を例としてあげつつ、①と②の関係について論じなさい。

### 第3問

子どもが教員によってスクールカウンセラーのところに連れてこられて、「とくに困っていることや話したいことはない」と言うとき、どのようにしてカウンセリングやプレイセラピーを導入するとよいであろうか。考えるところを述べよ。

### 第4問

統計データの代表値には、どのようなものがあるか。代表値の種類と、各々の代表値の特徴と用途について述べなさい。

### 第5問

crisis intervention について、その背景となる考え方、目的、援助のプロセスを含めて、説明しなさい。